

Report

J C N E W S WAKAYAMA

2021.12月号 No.673



~仲間とともに輝く未来を創出しよう!~

2021年11月1日(月)

韓国議政府青年会議所との公式会議並びに姉妹JC締結式

涉外交流委員会 委員 島本 和典

11月1日(月)Zoomにて、姉妹JCである韓 国議政府青年会議所との公式会議並びに姉妹JC締結 式を開催させていただきました。

本来であれば、韓国議政府青年会議所メンバーの皆さまと相互訪問し交流を深める予定ではありましたが、新型コロナウイルスの影響から Zoomでの公式会議となりました。また今後は、様々な影響を鑑み、永続的に交流を続けていけるよう締結書の内容を「2年の間に相互訪問する」という内容に変更となりました。

本年度は、先輩諸氏が韓国議政府青年会議所との姉妹締結を結んで49年目の年であり、また3年に1度の姉妹JC締結更新の年でした。締結式では川瀬理事長、キム会長に締結書へ署名をいただき、無事姉妹JC締結の更新が執り行われました。その後の事業紹介では、アゼリア賞の支援やわんぱく相撲和歌山場所、会員交流事業について説明させていただきました。その後和歌山青年会議所と韓国議政府青年会議所とで記念品交換をおこないましたが、どちらも「コロナに負けず共に頑張ろう」という想いのこもった贈り物となり、時世を感じるものとなりました。

2022年度は姉妹締結を結んでから50年目の節目となりますので、両国が新型コロナウイルスを克服

し、公式訪問といった形で交流できることを願って います。

最後に、和歌山青年会議所メンバーの皆さま、韓 国議政府青年会議所メンバーの皆さまにおかれまし ては、ご参加いただき誠にありがとうございまし た。私自身、こういった場での司会進行が初めてと いうこともあり、とても緊張していましたが、皆さ まに支えていただき、大きなトラブルもなく終える ことができました。貴重な経験をさせていただき、 とても感謝しております。今回の経験をふまえ、問 題点等を検証し、しっかりと次年度に引き継いでま いりたいと思います。



韓国議政府青年会議所から贈られた記念品



韓国議政府青年会議所のメンバー



公式会議後の記念撮影

キックオフミーティング

2022年度チーフセクレタリー予定者 大西 清悟

10月22日(金)県民交流プラザ和歌山ビッグ 愛・大ホールにて2022年度和歌青年会議所キッ クオフミーティングが開催されました。

初秋の気候の中取りまとめを行っていただいた委員 長予定者の皆さまのご協力もあり、多くのメンバー にご参加いたたくことができました。

私はチーフセクレタリー予定者として会場の設営に 携わりました。谷口竜一事務局長予定者が率先し、 セクレタリー予定者も一丸となって、設営にあたり 無事に開催することができました。

辻川大器理事長予定者より2022年度の理事長所 信(案)基本理念「"Challenge"」~ 踏み出そう!!躍進への一歩を~の方針を発表し、 2022年度の一般社団法人和歌山青年会議所の運 動が近づいていることを実感しました。

私が入会した時期は新型コロナウイルスの影響に より青年会議所活動に参加することが少なく、青年 会議運動に全く興味を持つことができませんでした が、本日のキックオフミーティングで委員長予定者 から次年度への意気込みを発表するまでに何度も会 議を行い、地域のために真剣に向き合っているメン バーの皆さまの姿に心が惹かれました。

事務局予定者の一員として、近年の新型コロナウイ ルス感染拡大の影響により青年会議所運動が困難な 中、メンバーのことを引っ張ってくださいました諸 先輩方のお気持ちを受け継ぎ、記念すべき65周年 という大きな節目の年を迎える和歌山青年会議所の 運動が、今後一層地域発展につながるよう、私自身 も事務局予定者の一員として努力してまいりたいと 思います。



川瀬理事長による挨拶



辻川理事長予定者による挨拶



セレモニーの様子



設営を担当した2022年度事務局メンバー



2022年度会員開発委員会のメンバー

パワーオブワカヤマ~ヒトニヒカリ~

地域社会創出委員会 委員長 石井 勇気

11月6日(土)和歌山市の新たなシンボルマークとして新設されました和歌山城ホールにてパワーオブワカヤマ〜ヒトニヒカリ〜を開催いたしました。

コロナ禍で低迷されている経済や市民の心に向けてヒカリを灯したいという想いから本事業を開催させていただき、当日は医療従事者の方々に対して、エールのお言葉を和紙灯籠へ、未来を担う子供たちが一生懸命ペットボトルに夢や希望のメッセージをそれぞれ記載していただき、ペットボトルタワーイルミネーションを作成しました。

ご来場いただいた市民の皆さまへのアンケートでは「今回の事業のおかげで明日と言う未来に夢や希望を持つきっかけとなりました」「私たちも青年会議所の皆さんみたいに何らかの形によって社会貢献したい」など大変う

れしいお言葉をいただきました。

また、事業に携わった各諸団体のご家族や学校関係者の方々にも多数ご来場いただき、点灯式が始まった際には笑顔や涙で溢れかえっていたことが心に残っております。青年会議所の運動や活動によってご来場いただいた皆さまの笑顔や感動を創出するという素晴らしい体験をさせていただきました。

青年会議所の想いを市民の皆さまに発信することにより、皆さまに今後の未来に向けての向上心を創出していただくきっかけになったことと感じております。入会間もないメンバーにおかれましても積極的に参加していただき、笑顔で市民の皆さまに接していただきました。今回私たちが開催した~パワーオブワカヤマヒトニヒカリ~を通じて誰一人取り残さない明るい豊かな和歌山市の実現に近づくことができたと確信いたしました。



川瀬理事長と尾花和歌山市長



バルーンとライトアップされた和歌山城



和紙灯籠



光のゲート



事業後の記念撮影



バブルマシーン



1階でイベントを開催していただいた学生ボランティアの皆さま

わとらんタイムトラベル

「POWER OF わかやま ~城下町リ・ボーン~」 (2017年)

、 本年度は「わとらんタイムトラベル」と題し、和歌山青年会議所がこれまでに行ってきた様々な事業をわとらん が当時の担当者にお話を伺って振り返ります。

今回は2017年に開催されました「POWEROF OF わかやま \sim 城下町リ・ボーン \sim 」について当時の委員長だった楠本 成吾先輩にお話を伺います。



今回は2017年に開

催された「POWER OF わかやま〜城 下町リ・ボーン〜」を

振り返るらん

<u>この事業を行うことになった経緯について教えてほしいらん♪</u>

60周年記念事業委員会委員長を拝命して、はじめに事業を構築するにあたって「和歌山の課題は何か」ということを話し合いました。その中で、様々な団体が町おこしのイベントなどを行っているものの、多くは分散しがちであるということと、中心市街地の空洞化に焦点を当てました。そのために、地域おこしをされている他団体の力を結集して圧倒的なスケールの事業を行うことで、人口が都市部に集中している現状から、地方に住み暮らす私たちや市民の方に地元和歌山に誇りを持って地域の魅力に気づいてもらえるよう少しずつ意識を変えてもらえたら、との想いでこの事業を開催しました。

事業を行うにあたって楽しかったことや苦労したことを教えてほしいらん♪

多くの団体に出展していただくにあたって公平なルールを策定して、周知・共有することに入念な準備を行いました。また、歩行者天国にしたことで準備から後片付けまで時間が限られていたので、区割りや各委員会に担当していただく配置については苦心しました。

当初苦労することが予想された近隣の方のご理解については驚くほどなくて、好意的に受け止めていただき様々なご協力をいただきました。商業教育フェスタに出展していただいた県内各地の高校生がそれぞれの地元の名産品を一生懸命発信されて、正午から事業がスタートして夕方には早くも完売していたのを見て特に心を打たれました。

65周年に向けてにメッセージをお願いするらん

事業を行った当時に課題と考えた「都市部への集中」というものが、新型コロナウイルスによってライフスタイルが大きく変わり、地域の魅力をより強く発信することができるようになってきたように思います。この変化を皆さまの想像力を活用して「こんなまちにしたい」と熱意を持って取り組んでいけば素晴らしい65周年を迎え、和歌山の発展に大きく貢献できると思っています。「価値観が変われば人が変わる、人が変われば地域が変わる、地域が変われば未来が変わる」という想いで突き進んでいただきたいと思います。

現役会員にメッセージをお願いするらん

大きな転換点を迎えた時代なので、何かに捉われることなく果敢にチャレンジしていただきたいと思います。

自分自身、青年会議所で何を変えることができるのだろう、と思っていましたが、実際に経験すると若い力で様々なものを変えることができると 感じました。皆さまにもそれを信じてかんばっていただきたいと思います。

























会員拡大委員会 委員長 松原 翔太

11月14日(日)西松江緑地体育館にて、新入会 員研修事業を開催いたしました。

本事業では新入会員に和歌山青年会議所が行う運動の 意義を知っていただくとともに、児童養護施設の児童 が心身ともに健やかに成長していただく機会となるよ うにとの想いで事業を構築いたしました。

交流内容として、各班に分かれ、新入会員に班の リーダーを担当してもらい、午前はマスクに好きな絵 を描いてもらいました。その後は午後のスポーツ交流 で使用する紙皿フリスビーを作成しました。作成した マスクとフリスビーは事業後にそれぞれ持ち帰ってい ただきました。

昼食を挟んで午後の部では午前に作成した紙皿フリス ビーとばし、モルック、大縄跳び、ボール運びリレー の4種目を通じて各班で得点を競いました。

新入会員が率先して各班のリーダーとして主体的に 行動してくれている姿を見て、これからの和歌山青年 会議所を背負って立つ頼もしい仲間ができたことを嬉 しく思うとともに、コロナ禍でなかなか交流する機会 がなかった各施設の皆さまからも喜びの声をいただ き、本事業を開催して良かったと思いました。メン バーの皆さまにおかれましては長時間にわたりお手伝 いや新入会員のサポートをしていただきまして本当に ありがとうございました。







- ツ交流の様子



を担当した会員拡大委員会メンバ



12月度告知

『12月定時総会』『2021年度歳末忘年会』

2021年12月20日(月)

総会:ルミエール華月殿5階八州の間 19:00~20:25 歳末忘年会:ルミエール華月殿6階富士の間 20:40~22:10

2022年度の運動に関する重要な議件をご承認いただくとともに、2021年度の運 動を締めくくる本年度最後の事業となります。総会は我々和歌山青年会議所の意思決定 を担う重要な会でありますので、メンバーの皆さまにおかれましては万障お繰り合わせ の上ご参加いただきますようお願いいたします。

また、総会後には本年度を楽しく締めくくりメンバーの親睦を深める歳末忘年会を実施 いたします。ご多忙かと存じますが、ご参加のほど重ねてお願いいたします。

総会担当:総務広報委員会 委員長 松阪 考

歳末忘年会担当:組織革新委員会 委員長 佐武 真介

12月 スケジュール

参加したメンバ・

3	金	第23回財政規則審査会議
---	---	--------------

- 7 火 第23回三役会
- 金埋事会 10
- 月 定時総会・歳末忘年会 20
- 21 火 第24回財政規則審査会議
- 23 木 第24回三役会
- 27 月 事務局大掃除
- 28 事務局大掃除



編集・発行

般社団法人 和歌山青年会議所

和歌山市西汀丁36番地(和歌山商工会議所5F) TEL.073-428-3334(#) FAX.073-431-1693 URL : https://www.wakayama-jc.net mail: office@wakayama-jc.net





